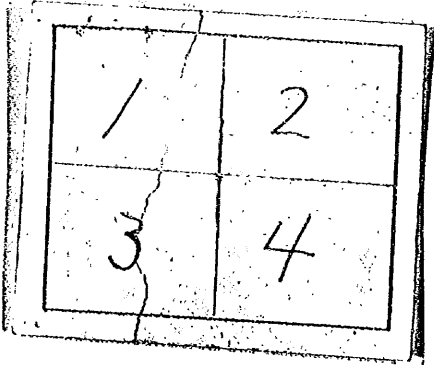


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0389
0390

0391
0392

所 属

第五方面軍第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八八大隊 (2)

通稱號先 一二六八八

郵便所名

全般概要

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員入制編

別 隊

隊長名
()内は先代を
示す

中尉 袴田 三郎

開入
戦時
人員

180

駐屯地
平時
戦時

島 筵 嶺

島 守 占

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

二〇、八、一三 渡島四〇名を變し主方は
占守島に
八、二〇 渡島部隊は幌島に於て、
「ニシライニフネ」

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員
隊別
計

滿洲
残留

收

隊名 獨立歩兵第二八八大隊 (2) 通稱 號先一二六八八

郵便所名

員人制編	別 隊	隊 長 名 (内は先代を示す) 中尉 袴田 三郎	駐 屯 地	戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 人 員 變 動	作 業 大 隊 以 外 入 ソ ン 迄 の 變 動	入 ソ ン 人 員	滿 洲 殘 留	收 容 所 名	收 容 所	歸 還 人 員	状 況 不 明 者 数
	隊 中 砲 兵 歩		180	島 筵 嶺 島 守 古		二〇〇八、一三、四四〇名を襲撃し主力は 二〇〇八、一三、四四〇名を襲撃し主力は 二〇〇八、一三、四四〇名を襲撃し主力は 二〇〇八、一三、四四〇名を襲撃し主力は						

家中宛兵部

附三 附四 附五

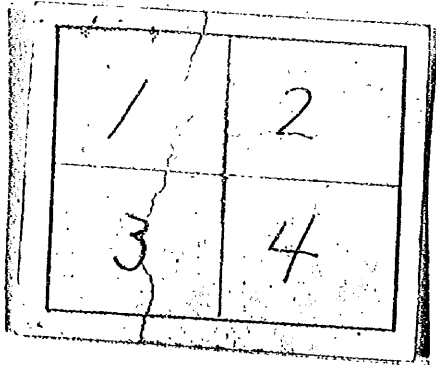
180

陸軍部

陸軍部

陸軍部
附三 附四 附五
附六 附七 附八
附九 附十 附十一
附十二 附十三 附十四
附十五 附十六 附十七
附十八 附十九 附二十
附二十一 附二十二 附二十三
附二十四 附二十五 附二十六
附二十七 附二十八 附二十九
附三十 附三十一 附三十二
附三十三 附三十四 附三十五
附三十六 附三十七 附三十八
附三十九 附四十 附四十一
附四十二 附四十三 附四十四
附四十五 附四十六 附四十七
附四十八 附四十九 附五十
附五十一 附五十二 附五十三
附五十四 附五十五 附五十六
附五十七 附五十八 附五十九
附六十 附六十一 附六十二
附六十三 附六十四 附六十五
附六十六 附六十七 附六十八
附六十九 附七十 附七十一
附七十二 附七十三 附七十四
附七十五 附七十六 附七十七
附七十八 附七十九 附八十
附八十一 附八十二 附八十三
附八十四 附八十五 附八十六
附八十七 附八十八 附八十九
附九十 附九十一 附九十二
附九十三 附九十四 附九十五
附九十六 附九十七 附九十八
附九十九 附一百

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第五方面軍第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八九大隊 (1)

通稱 號先一二六八九

郵便所名

0393
0394
0395
0396

全般概要		轉入	轉出	員人組織
<p>勝隊二〇、八、二八 占守島に於て食糧解除を受 和田中尉を要とする竹葉第 七大隊を編成し</p> <p>二〇、一三、三〇 占守島發</p> <p>二一、一一、一九 ナホトカ着此處に於て三分 され「ワカロン」は行 方不明、收容所收容將校及 准尉は將校大隊となり海隊 と別行動をとる</p> <p>占守(主)</p> <p>八、二二、武解 「ワカロン」イリカ、ス ムスタ脱走に分散</p> <p>八、二四 村上で武解「ワカロン」第 五收容所へ</p> <p>二〇、八、一八 各中隊約三分隊を陣地へ 送り主力「占守島」へ轉送</p> <p>八、二二 「四嶺山」兩麓の戦斗に参 加損害なし</p> <p>敵に突へた遺棄死傷四〇</p>		<p>十九年以降</p>	<p>十九年以降</p>	<p>800</p>
別隊	隊長名	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動
<p>少佐 山田 徳藏 副官中尉 淺岡 一繁</p> <p>(内は先代を不示す)</p>	<p>島建親 島守占</p>	<p>同 同</p>	<p>二〇、八、一八、二〇、八、二二 四嶺山兩麓の戦斗に參加</p> <p>二〇、八、一八 主力と共に占守島に上陸中隊主力は徒歩で て大嶺山に向ひ(途中口〇)旅團長の指揮 下に入る</p> <p>二〇、八、二〇 大嶺山右第一級大隊竹下大隊と交代(中 は右第一線)</p> <p>同 右</p> <p>天祥山に旅團直轄連絡隊として待機</p>	<p>和田中尉、鏡行少尉、船頭少尉將校大隊に 編入 官田中尉之前に残留</p>
別隊	入ソ人員	隊別計	滿洲残留	收
<p>作業大隊より 入ソの變動</p> <p>勝校、准尉は將校大隊に編 入、下士、兵は作業第七大 隊編成</p> <p>二一、一一、一 占守島出發</p> <p>二一、一一、一九 ナホトカ上陸</p> <p>ナホトカに於て三分され約 五〇〇「ワカロン」約 二〇〇「イヤン」地區殘部 は行方不明</p> <p>一、二二 ワカロン第一收容所へ 二五〇名、第二收容所へ二 五〇名</p> <p>同 右</p> <p>同 右</p>	<p>850</p>	<p>同 右</p>	<p>同 右</p>	<p>同 右</p>

二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八

二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八

二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八

二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八

800

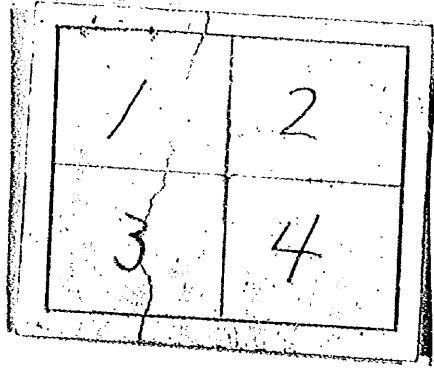
本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊	第 四 中 隊
中尉 松本 嘉介 1 指 2 2 3 3 4 (MG) 少尉 中野 潤	中尉 石澤隆太郎 1 少尉 貴島高則 2 3 4	大尉 細岡 頼明	大尉 小島清三郎 1 2 3 少尉 松本 萬龜夫 4	
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
二〇、八、二〇、八 主力と共に古守島に上陸 して大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に	二〇、八、二〇、八 主力と共に古守島に上陸 して大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に	天神山に旅直直轄軍部隊として特遣	二〇、八、二〇、八 主力と共に古守島に上陸 して大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に 大機密に同い(途中中口)に	

二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八
 二〇、八、二〇、八、二〇、八

850

本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊	第 四 中 隊
第一隊	中尉 松本 嘉介 指 4 3 2 1 (MG) 少尉 中野 潤	中尉 石澤隆太郎 少尉 貴島高則 4 3 2 1	大尉 細岡 頼明	大尉 小島清三郎 少尉 松本萬藏夫 4 3 2 1
第二隊	右 同	右 同	右 同	右 同
第三隊	右 同	右 同	右 同	右 同
第四隊	二〇、八、一八 主力と共に占守島に上陸中隊主力は従って大森港に向ひ(途中中口) (本隊の捕獲) 下に入る 二〇、八、二〇 大森右第一隊大隊竹下大隊と交代(中隊第一隊)	同 右	天神山に旅団直轄部隊として待機	二〇、八、一八 主力と共に占守島に上陸 二〇、八、二〇 大森第一隊大隊竹下大隊と交代
第五隊	同 右 二五〇名 第二隊司令部(二五〇名)	同 右	同 右	同 右

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0397
0398
0399
0400

場所

第五方面軍第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八九大隊 (2)

通稱號 先一二六八九

郵便所名

全般概要

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員入割編

隊長名
(内は先代を示す)

開入
戦時

駐屯地

戦況
戦時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

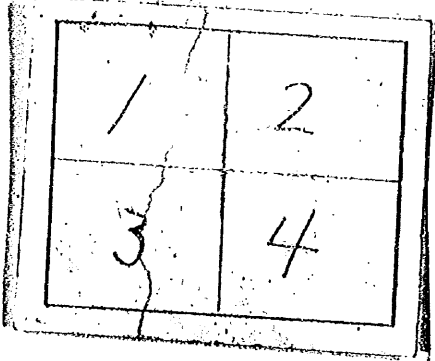
入「ソ」人員
隊別計

滿洲殘留

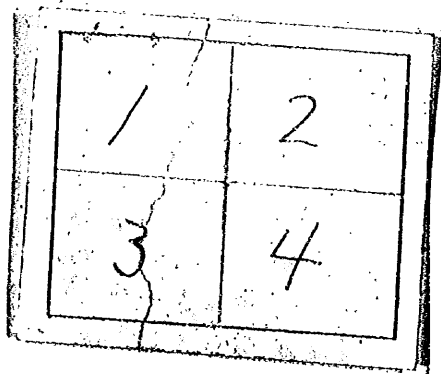
隊別	隊名	隊長名	開入戦時	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員隊別計	滿洲殘留
隊中砲兵	隊中砲山	中尉 野村 四郎 少尉 伊藤 光博	島鏡視	島守占	二〇、八、一八 主力と共に占守島に上陸し、 二〇、八、二〇 大森第一線部隊に下大 隊と交代				
隊中砲白	隊中砲山	中尉 岩野 俊道	右 同	右 同	同 右				

	隊 中 砲 白	隊 中 砲 山	隊 中 砲 兵 少
	中尉 岩野 俊道	中尉 川村 俊明	少尉 渡邊 光雄
	右 同	右 同	少尉 渡邊 光雄
	右 同	右 同	少尉 渡邊 光雄
	同 右	同 右	少尉 渡邊 光雄

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

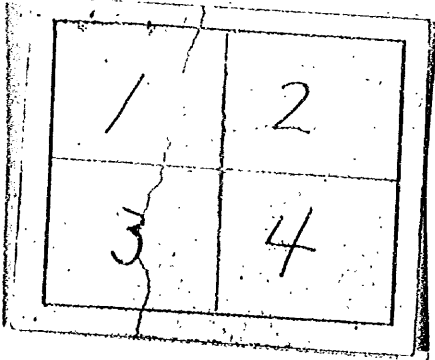
部隊名 獨立歩兵第二九一大隊 (2)

通稱號 先一二六九一

郵便所名

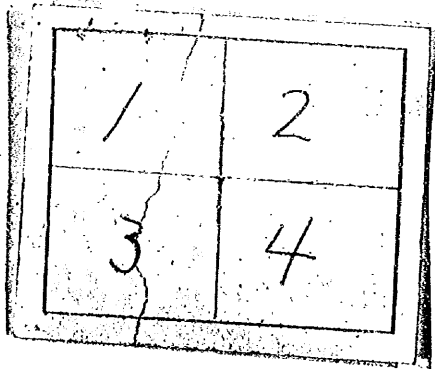
編制人員		隊別		獨立歩兵中隊	
隊長名		（内は先代を示す）		中尉 後藤 利男 同 鹿目	
駐屯地		戦時		島籠規	
戦時		戦時		二〇、八、三〇 二ヶ小 戦時に帰還	
戦時		戦時		二ヶ小隊は二〇、八、二〇―二三間本隊、 一中、四中に配属、占守島の掃蕩せり 戦時なし	
戦時		戦時		終戦後の人員變動	
戦時		戦時		作業大隊より 入ソ」迄の變動	
戦時		戦時		入ソ」人員 隊別計	
戦時		戦時		満洲残留	
戦時		戦時		收容所名	
戦時		戦時		所人	
戦時		戦時		死亡	
戦時		戦時		満洲より領計	
戦時		戦時		者数	
戦時		戦時		状況不明	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

隊 中 四 第	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部
中尉 中村 晴一	中尉 渡邊	大尉 秋田 貞也	中尉 大湯	
右 同	右 同	140	(762)	
		右 同	右 同	
昭和二〇、五、四、北千島渡輪古丹島守備のため、第四中隊は旅團通信隊の若干名と袖原に於て組成出發す。日「ソ」開戦の報を受くるも戦せず。		原 相	右 同	
昭和二〇、八、二〇、「ソ」運指揮官(少佐)により武裝解除させ、二二部隊を完了。輸送船により袖原に送付せられ集結す。兵員全員異状なし。		中隊は北千島渡輪「ヌリベチ」地区警備シニアタラガ古守島にて開戦の爲、二二同地發、二三日占守渡輪船場迄の爲相原移動、逃亡、戦死、病死等なし。	夏目中尉以下一三五名袖原に作業大隊として發遣、中隊長以下五名入「ソ」人員の損耗なし。	
二〇、一一、二五 兵大隊(安海尉)將校大隊(少佐)編成 一、二八、乗船「三〇」 二、二八、乗船「三〇」 三、二八、乗船「三〇」 四、二八、乗船「三〇」 五、二八、乗船「三〇」 六、二八、乗船「三〇」 七、二八、乗船「三〇」 八、二八、乗船「三〇」 九、二八、乗船「三〇」 十、二八、乗船「三〇」 十一、二八、乗船「三〇」 十二、二八、乗船「三〇」 十三、二八、乗船「三〇」 十四、二八、乗船「三〇」 十五、二八、乗船「三〇」 十六、二八、乗船「三〇」 十七、二八、乗船「三〇」 十八、二八、乗船「三〇」 十九、二八、乗船「三〇」 二十、二八、乗船「三〇」 二十一、二八、乗船「三〇」 二十二、二八、乗船「三〇」 二十三、二八、乗船「三〇」 二十四、二八、乗船「三〇」 二十五、二八、乗船「三〇」 二十六、二八、乗船「三〇」 二十七、二八、乗船「三〇」 二十八、二八、乗船「三〇」 二十九、二八、乗船「三〇」 三十、二八、乗船「三〇」 三十一、二八、乗船「三〇」 三十二、二八、乗船「三〇」 三十三、二八、乗船「三〇」 三十四、二八、乗船「三〇」 三十五、二八、乗船「三〇」 三十六、二八、乗船「三〇」 三十七、二八、乗船「三〇」 三十八、二八、乗船「三〇」 三十九、二八、乗船「三〇」 四十、二八、乗船「三〇」 四十一、二八、乗船「三〇」 四十二、二八、乗船「三〇」 四十三、二八、乗船「三〇」 四十四、二八、乗船「三〇」 四十五、二八、乗船「三〇」 四十六、二八、乗船「三〇」 四十七、二八、乗船「三〇」 四十八、二八、乗船「三〇」 四十九、二八、乗船「三〇」 五十、二八、乗船「三〇」 五十一、二八、乗船「三〇」 五十二、二八、乗船「三〇」 五十三、二八、乗船「三〇」 五十四、二八、乗船「三〇」 五十五、二八、乗船「三〇」 五十六、二八、乗船「三〇」 五十七、二八、乗船「三〇」 五十八、二八、乗船「三〇」 五十九、二八、乗船「三〇」 六十、二八、乗船「三〇」 六十一、二八、乗船「三〇」 六十二、二八、乗船「三〇」 六十三、二八、乗船「三〇」 六十四、二八、乗船「三〇」 六十五、二八、乗船「三〇」 六十六、二八、乗船「三〇」 六十七、二八、乗船「三〇」 六十八、二八、乗船「三〇」 六十九、二八、乗船「三〇」 七十、二八、乗船「三〇」 七十一、二八、乗船「三〇」 七十二、二八、乗船「三〇」 七十三、二八、乗船「三〇」 七十四、二八、乗船「三〇」 七十五、二八、乗船「三〇」 七十六、二八、乗船「三〇」 七十七、二八、乗船「三〇」 七十八、二八、乗船「三〇」 七十九、二八、乗船「三〇」 八十、二八、乗船「三〇」 八十一、二八、乗船「三〇」 八十二、二八、乗船「三〇」 八十三、二八、乗船「三〇」 八十四、二八、乗船「三〇」 八十五、二八、乗船「三〇」 八十六、二八、乗船「三〇」 八十七、二八、乗船「三〇」 八十八、二八、乗船「三〇」 八十九、二八、乗船「三〇」 九十、二八、乗船「三〇」 九十一、二八、乗船「三〇」 九十二、二八、乗船「三〇」 九十三、二八、乗船「三〇」 九十四、二八、乗船「三〇」 九十五、二八、乗船「三〇」 九十六、二八、乗船「三〇」 九十七、二八、乗船「三〇」 九十八、二八、乗船「三〇」 九十九、二八、乗船「三〇」 百、二八、乗船「三〇」				
		762		
第一回目ハモロト ビヤ洲ヤフス五八 ラ、一、マルシヤ 二、一、マルシヤ 三、一、マルシヤ 四、一、マルシヤ 五、一、マルシヤ 六、一、マルシヤ 七、一、マルシヤ 八、一、マルシヤ 九、一、マルシヤ 十、一、マルシヤ 十一、一、マルシヤ 十二、一、マルシヤ 十三、一、マルシヤ 十四、一、マルシヤ 十五、一、マルシヤ 十六、一、マルシヤ 十七、一、マルシヤ 十八、一、マルシヤ 十九、一、マルシヤ 二十、一、マルシヤ 二十一、一、マルシヤ 二十二、一、マルシヤ 二十三、一、マルシヤ 二十四、一、マルシヤ 二十五、一、マルシヤ 二十六、一、マルシヤ 二十七、一、マルシヤ 二十八、一、マルシヤ 二十九、一、マルシヤ 三十、一、マルシヤ 三十一、一、マルシヤ 三十二、一、マルシヤ 三十三、一、マルシヤ 三十四、一、マルシヤ 三十五、一、マルシヤ 三十六、一、マルシヤ 三十七、一、マルシヤ 三十八、一、マルシヤ 三十九、一、マルシヤ 四十、一、マルシヤ 四十一、一、マルシヤ 四十二、一、マルシヤ 四十三、一、マルシヤ 四十四、一、マルシヤ 四十五、一、マルシヤ 四十六、一、マルシヤ 四十七、一、マルシヤ 四十八、一、マルシヤ 四十九、一、マルシヤ 五十、一、マルシヤ 五十一、一、マルシヤ 五十二、一、マルシヤ 五十三、一、マルシヤ 五十四、一、マルシヤ 五十五、一、マルシヤ 五十六、一、マルシヤ 五十七、一、マルシヤ 五十八、一、マルシヤ 五十九、一、マルシヤ 六十、一、マルシヤ 六十一、一、マルシヤ 六十二、一、マルシヤ 六十三、一、マルシヤ 六十四、一、マルシヤ 六十五、一、マルシヤ 六十六、一、マルシヤ 六十七、一、マルシヤ 六十八、一、マルシヤ 六十九、一、マルシヤ 七十、一、マルシヤ 七十一、一、マルシヤ 七十二、一、マルシヤ 七十三、一、マルシヤ 七十四、一、マルシヤ 七十五、一、マルシヤ 七十六、一、マルシヤ 七十七、一、マルシヤ 七十八、一、マルシヤ 七十九、一、マルシヤ 八十、一、マルシヤ 八十一、一、マルシヤ 八十二、一、マルシヤ 八十三、一、マルシヤ 八十四、一、マルシヤ 八十五、一、マルシヤ 八十六、一、マルシヤ 八十七、一、マルシヤ 八十八、一、マルシヤ 八十九、一、マルシヤ 九十、一、マルシヤ 九十一、一、マルシヤ 九十二、一、マルシヤ 九十三、一、マルシヤ 九十四、一、マルシヤ 九十五、一、マルシヤ 九十六、一、マルシヤ 九十七、一、マルシヤ 九十八、一、マルシヤ 九十九、一、マルシヤ 百、一、マルシヤ				

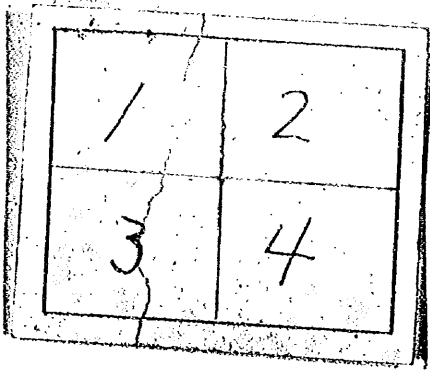
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

歩兵宛中隊

歩兵

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第五方面軍第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二九三大隊 (1)

通稱號先 一二六九二

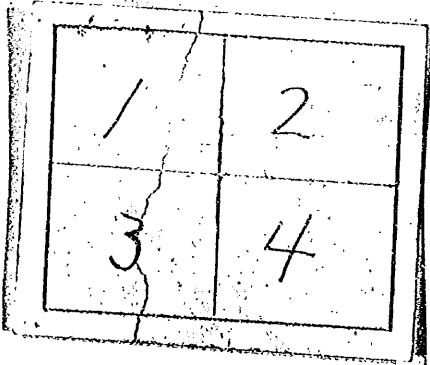
郵便所名

0417
0418
0419
0420

全般概要		轉入	轉出	編制人員	隊別	隊長名	戦時人員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソの變動	隊別計	滿洲殘留	
<p>此の部隊は占守島司令山附近の島嶼に参加して居るが、機密は不明なり。</p> <p>二〇、八、二三 三好野原行跡の於て、突撃隊除を受け、密部隊と收容され、突撃隊は九月四日、密部隊第二大隊に編入され、「入所」收容地は不詳。</p> <p>部隊(作一)大隊(部隊主)方は十一月二十六日、同島出發「ソ」に送られ、「ソ」第一收容所に收容された。機密は「ソ」の一部は「ウオロソフ」イリシカ「收容所」。</p>		60	125	858	本 部	長 教田 正外 少佐 島 正廣 中尉 伊藤 淳 大尉 三上 隆治 少尉 伊藤 久藏 同 伊藤 久藏	昭三〇、八、一九 部隊主力戦斗に入る。占守島司令山附近機甲部隊一ヶ隊と交戦す。	戦時人員	同 右	昭三〇、八、一八 第一中隊戦斗後、機甲部隊加入	同 右	入ソ	計	858
第三中隊	第二中隊	第一中隊	本部	隊長名	戦時人員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソの變動	隊別計	滿洲殘留			
大尉 鈴木 善一 中尉 藤咲 子牙 少尉 小島 覺	大尉 中川 正夫 中尉 安田 勝造 少尉 田窪 保雄 同 渡邊 正直 同 内藤 春雄	大尉 辻 英彌 中尉 山田 英彌	同 右	昭三〇、八、一八 第一中隊戦斗後、機甲部隊加入	同 右	昭三〇、八、一八 第一中隊戦斗後、機甲部隊加入	同 右	昭三〇、八、一八 第一中隊戦斗後、機甲部隊加入	同 右	昭三〇、八、一八 第一中隊戦斗後、機甲部隊加入	同 右	昭三〇、八、一八 第一中隊戦斗後、機甲部隊加入		

隊 中 四 第	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本
大尉 石田 博藏 少尉 丸田 保一郎	大尉 鈴木 善一 中尉 藤 咲 少尉 小 島 覺	大尉 中川 正夫 中尉 安田 勝造 少尉 田 窪 保雄 同 渡 邊 正直 同 内 藤 春雄	大尉 辻 英彌 中尉 山 田	少佐 三 正外 中尉 伊 藤 三 廣 大尉 伊 藤 三 隆治 少尉 伊 藤 三 隆治 同 伊 藤 三 隆治
同 右	同 右	同 右	同 右 二〇、八、一八 第一中隊戦斗投擲の爲戦 斗加入	同 右 二〇、八、一八 第一中隊戦斗投擲の爲戦 斗加入

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0421
0422
0423
0424

第五方面軍第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二九三大隊 (2)

通稱 號 先一二六九三

郵便所名

全般概要		隊 別	
轉入 十九年以降		隊 長 名 () 内は先代を示す 中尉 六本木良臣 少尉 三木常弘 同 山岸 貢	
轉出 十九年以降		開入 戦時	
員人制編		駐屯地	
隊 中 砲 兵 歩		平時	
		戰時	
		島守占	
		上 同	
		戰鬥間の狀況及損耗	
		終戦後の人員變動	
		作業大隊より 入ソ返の變動	
		入ソ人員	
		隊別計	
		滿洲殘留	
		收容	

隊名 獨立歩兵第二九三大隊 (2)

通稱 號先一二六九三

郵便所名

隊中砲兵歩		別	隊
		隊長名	()内は先代を示す
		中尉 六本木良臣	
		少尉 三木常弘	
		同 山岸 貢	
		開入	
		戦時	
		平時	
		戦時	
		戦時	
		駐屯地	
		島守占	
		同上	
		戦闘間の状況及損耗	
		終戦後の人員變動	
		作業大隊より入ソノ返の變動	
		入ソノ人員	
		除別	
		計	
		滿洲殘留	
		收容所名	
		收容所	
		死亡	
		滿洲ソノ領	
		計	
		歸還人員	
		者数	
		状況不明	

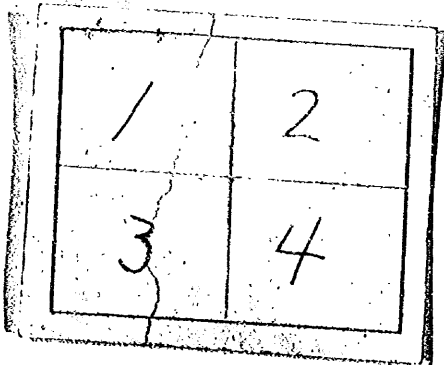
歩兵砲中隊

歩兵砲中隊
第六大隊
第三中隊

砲兵

砲兵

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

隊名 第七四旅團通信隊

通稱 號先一二六七五

郵便所名

線	無	線	有	部	本	別	隊
	中尉 茂木 義市 (中尉坂口松也)		中尉 若林 邦三 一少 渡邊 貞彦 中尉 渡邊 貞彦 二小 45		大尉 桃井 龜藏 中尉 市川與惣吉	隊長名 (内は先代を不)	
			100		35	時	入
	右 同		右 同		島建続	駐屯地	
	右 同		右 同		島守占	戦時	
	同 右		同 右		二〇、八、一八、拂曉、一ノ一軍古守島に上陸する中隊等は旅團司令部と共に急襲相原港より古守島に上陸、天神山に前進、天神山の第一線三ヶ大隊は、砲撃隊との連絡一帯を以て司令部の直接警戒につく、死一	戦斗間の状況及損耗	
						終戦後の人員變動	
						作業大隊より入ソ迄の變動	
			134			隊別計	入ソ人員
							滿洲残留
						收容所名	收容所
						死亡	死亡
						滿洲より	歸還人員
						計	計
						者数	状況不明

二〇、一、二三頃一ツラジオー上陸ウラジオー第十分所に收容

	線 無	線 有	線 本
	中尉 茂木 義市 (中尉坂口松也)	中尉 若林 義三 中尉 渡邊 貞蔵 二小 45	中尉 若林 義三 中尉 渡邊 貞蔵 二小 45
		100	35
	右 同	右 同	
	右 同	右 同	
	同 右	同 右	同 右
		134	

二〇、二一、二三頃一ウラ
ゾウ一上陸ウラゾオ第十分
所に救容

中尉 若林 義三
中尉 渡邊 貞蔵
二小 45